



□ ご挨拶

保護者の皆様、地域の皆様、この度、前任の小松進一校長先生の後を受け、練馬区立北町中学校からまいりました岩本眞由美と申します。

微力ではありますが、生徒がより良く成長するために全力で取り組んで参ります。皆様には様々な面でご支援、ご協力を頂戴することとなりますが、何卒よろしくお願いいたします。

この学校だよりを通して、生徒の生き生きとした活動や学校の様子を皆様にお知らせしていきたいと思います。ご高覧いただきますようお願いいたします。

□ 第75回 入学式が行われました。

大きな期待を胸に90名の新入生が入学しました。入学式で新入生にお話した内容の一部を載せさせていただきます。

さて、新入生の皆さん、東原中学校は、昭和二十四年に開校し、以来、保護者・地域の方々に支えられ、七十年以上の歴史を刻んできた学校です。皆さんは、今日、この歴史ある東原中学校の扉をたたき、開きました。いよいよ、新しい学校生活が始まります。皆さんの今の気持ちは、希望と不安が入り交じった複雑な気持ちでいることと思います。今日の喜び、抱負や決意など、初心を忘れることなくもち続け、三年間貴重な毎日を充実させるために、皆さんに3つのことをお話します。

一つ目は、「考える力を身につけてください」

中学校では、学習する教科も増えるうえに、内容も専門的になります。学習する内容が増えることで、不安もあるでしょう。しかし、自ら学習する姿勢、自ら考えて判断する主体性をもっていればその不安は期待に変わります。また、中学校では、多くの体験活動があり、様々な場面で、自分の判断や行動が問われることになります。どうしたら答えを導き出すことができるのか、自分の頭で考えることが大事です。情報や物事を何も考えずに鵜呑みにすることなく、自分の頭で、正しい方法を考えることを大切に、実践してください。そのとき、考えがさらに高められるのです。

二つ目は、「思いやりの心をもってください」

友達や先生、相手の立場になって話を聞き、行動してください。誰に対しても態度を変えなることなく公平に接し、差別することなく、偏見で人を見ない。それを許さない人になってください。また、自分でされて嫌なことは、他人にはしないことです。

この先、様々な人と関わって生活をしていきます。その関わりをもつ人の気持ちを考え、人に感謝し、いたわる気持ちを大切にしてください。

三つ目は、「授かった生命を大切にしてください」

皆さんは命を授かり、今日までに大切に育てられてきました。命はかけがえのないものです。自分を大切に、他の人も大切にしてください。中学校では、おもしろいぐらいにいろいろなことに興味がわいてきます。そのことは大切なことです。でも、物事はうまくいくことばかりではありません。そのための、先生方がいます。何でも相談してください。一人で悩まず、相談をして解決をしていきましょう。

「志あるところに道あり」意思があるところに道は開けるということです。是非、意思を持ち中学校生活を送ってください。そして、すばらしい道を開いてください。

ここで、東原中学校の教育目標を紹介します。自他の生命を尊び、心身の健康と豊かな人間性を養い、生涯を通して「学びながら自分を伸ばしていく」ための基礎となる力を育成するために、次の目標を設定しています。

- 一 自主（すすんで学び、自ら考える人になろう。）
- 二 感性（豊かな心を持ち、たくましく生きる人になろう。）
- 三 共生（互いを尊重し、共に高め合う人になろう。）

先ほどの3つのことにも関わってきますので、この教育目標を意識しながら学校生活を送ってください。

新入生の保護者の皆様、今日は、お子様のご入学、誠にありがとうございます。お子様は、本日、中学校教育の第一歩を踏み出されました。お子様がここまで成長されましたことにお祝いを申し上げます。そして、これから始まる中学校生活の中で、お子様の心と体は、これまでよりも一層大きく成長されると確信しております。

結びになりましたが、私たち教職員一同、新入生の教育に全力を尽くすことをお誓い申し上げまして、式辞といたします。

歓迎の言葉

在校生代表 第3学年 熊谷 大之

暖かい春の風が心地よい季節となり、校内の花々も皆さんの入学を心待ちにしていました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今日の入学を迎えた皆さんは、今どのような気持ちですか。慣れ親しんだ小学校を卒業し、これから始まる東原中学校での生活に期待していると同時に不安や緊張でいっぱいだと思います。皆さんを見ると僕も二年前の入学式の日を思い出します。新たな生活に期待を膨らませていた一方、勉強や部活動のこと、そして新しい友達との人間関係などさまざまな不安もありました。私たち在校生はそのような皆さんの不安を楽しみに変えていけるよう、お手伝いしていきたいとも思います。困ったことがあったらいつでも聞いて下さい。一緒に解決し、一緒に成長していきましょう。

今日はこれから皆さんが過ごすこの東原中についていくつか紹介していきたいと思います。

まず、東原中学校の校風である『自由と責任』についてです。この校風の下、生徒は厳しい校則に縛られることなく過ごしています。ただ、「自由」だから何でも許されるというわけではありません。生徒自身が物事の善悪を自分で考え、「責任」をもって生活をしているからこそ、『自由と責任』という校風が成り立っています。

次に校歌です。東原中学校の校歌には伴奏がありません。ア・カペラの混声四部合唱で歌われます。これはほかの学校にはない東原中学校の伝統であり、自慢でもあります。後ほどお聞かせしますので、ぜひ楽しみにしててください。

そして三つ目に「挨拶」です。挨拶も東原中学校の伝統です。先輩とか後輩とか先生とか関係なく、どちらからともなく挨拶を交わします。廊下はいつもたくさんの挨拶であふれています。ぜひ皆さんもすれ違う人に挨拶をしてみてください。きっと気持ちのよい挨拶が返ってくると思います。そして気持ちの良い生活が送れると思います。この他にもさまざまな伝統が東原中学校にはあります。ぜひ楽しみにしててください。

今日から皆さんも東原中生です。東原中生としての誇りと自信を胸に、さまざまな活動で共に切磋琢磨し、自分の「夢」へ向かって、素晴らしい学校生活を送っていきましょう。

最後になりますが、新入生の皆さんに心からお喜び申し上げ、歓迎のことばとさせていただきます。

新入生誓いの言葉

新入生代表 安齋 晴貴

暖かな春の訪れとともに、私たち九十名は東原中学校入学の日を迎えることができました。

本日は、このような素晴らしい入学式を行っていただきありがとうございます。

私たちは、先月、それぞれの小学校を卒業し、小学校生活で学んだことや友達との思い出を胸に、新たな中学校生活をスタートします。

難しくなる勉強や、部活動、新しい友達との出会いなど、これからの学校生活を考えると不安もありますが、どんな毎日が待っているのだろう、という期待もあります。

勉強では英語の授業が楽しみです。英語を勉強すると、今まで知らなかった新しい発見がありワクワクします。しかし、中学校の授業は、小学校に比べて難しくなると思います。ですから、自ら学ぶ姿勢をもち、どの教科でも一生懸命に取り組みたいです。

また、部活動にも積極的に参加していきたいと思います。部活動を通じて先生方や先輩方からいろいろなことを教えていただき、仲間との絆を深めていきたいです。

中学校生活で、楽しいことも苦しいこともあると思います。ときには自分で進む道を決めることもあるかもしれませんが。悩んだ時も楽しい時も今日一緒に入学する友達とともに乗り越え、中学生としての自覚を持って充実した3年間を送りたいと思います。

校長先生をはじめ先生方、先輩方、地域の皆様、温かいご指導をよろしくお願いします。